

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科理工学				
担 当 者	森谷徳文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	3.9	3.9	3.9	4	
学生へのメッセージ					
<p>歯科理工学講義は、内容が歯科衛生士として活動していく将来、必須の基礎知識となります。例えて言うと、ゲームをする際の説明書であり、説明書を隅々まで読むこと、イコール歯科理工学の講義内容みたいな感じです。</p> <p>退屈ですが、教科書を読むことが最も大事なこととなります。</p> <p>予習や復習で、教科書を1通り読むことが必要ですが、それを実行している方は非常に少ない印象です。講義では教科書をなぞらえるスライドが多いですが、せめて講義中に教科書を皆さんに1度は読んで頂きたい意図があり、そのようにしています。しっかりと教科書を読んで、どこに何が書いてあるのかを大体でいいので把握しておいて頂きたいです。</p> <p>小テストは、早くから国家試験の問題に触れ、何が大事なかを把握するために非常に重要なために行っています。</p> <p>学生の皆さんには、これらのことをしっかりと頭に置いて頂きたいと思います。</p> <p>アンケートでご指摘のあった、スライドの内容、分かりやすさ、聞き取り易い話し方などを改善して今後の講義に臨みたいと思いますので、よろしくお願い致します。</p> <p>何かご意見があればメールでお知らせ頂ければ幸いです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	生化学・栄養学				
担 当 者	森谷徳文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.3	4.3	4.1	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>生化学・栄養学は、医療従事者として活動していく将来、必須の基礎知識となります。理解が難しい側面がありますので、教科書を読むことが最も大事なこととなります。しっかりと理解するには、予習や復習で、教科書何度も読むことが必要となります。講義では教科書をなぞらえるスライドが多いですが、教科書の内容を皆さんに把握して頂き、理解の助けになることを目的としています。</p> <p>しっかりと教科書を読んで、なんとなくでも良いので理解して頂きたいと思います。小テストは、早くから国家試験の問題に触れ、何が大事なのかを把握するために非常に重要なために行っています。</p> <p>学生の皆さんには、これらのことをしっかりと頭に置いて頂きたいと思います。アンケートでご指摘のあった事を、改善して今後の講義に臨みたいと思いますので、よろしくお願い致します。</p> <p>何かご意見があればメールでお知らせ頂ければ幸いです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	歯科医療検査総論				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4	4	4.1	4	
学生へのメッセージ					
<p>医療検査学科の先生がたのご協力のもと、オムニバス形式で授業をおこないました。皆さんにとっては難しい内容のものもあったかと思います。しかし、当科目で学修する内容は、歯科衛生士にとって臨床の現場では必要不可欠な知識ばかりですので、3年次の臨地実習においても当科目の内容を思い出しながら、しっかりと知識の定着を図るようにしてください。カテゴリー I～V まですべての項目においてほぼ学科平均でした。授業評価の回答数が受講者 66 名のうち 46 名 (70%) と少なかったことが残念です。回答者のうち約半数の 21 名が授業外の学習時間が 30 分以内であったと回答しています。次年度からは事後レポート作成、プレテストの導入などで授業外での学習時間を確保してもらえよう工夫をしたいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	医療面接				
担 当 者	江崎ひろみ 破魔幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4	4	4	4	
学生へのメッセージ					
<p>毎授業ごとのミニツツペーパーへのコメントや本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。</p> <p>本科目は 医療従事者と患者が対等な立場でコミュニケーションを行い良好な人間関係、信頼関係を構築するにはどうすればよいのか具体的に考えてもらいました。医療面接の基本となる患者への共感的態度を理解し、病歴聴取・情報収集、全身の健康状態の把握のための実践的技術を学修していただきました。情報収集の難しさ、多くの知識を要することが分かったと思います。アセスメントする力は、一度や二度の授業で身につけるのは難しいことです。本授業で得た基本的な知識をもって、臨床実習では患者に向き合い、自分で観る・気づく・考察する・工夫する・考えを伝える（記述する）ことに活かしてもらいたいと思います。（江崎・破魔）</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	子どもの食と栄養				
担 当 者	江崎ひろみ 西保亜希 吉田幸恵				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.1	4.1	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>毎授業ごとのミニツツペーパーへのコメントや本授業評価のおかげで、授業の改善点がわかりました。ありがとうございました。</p> <p>本科目は、子どもの成長各期における望ましい栄養状態の知識のみならず、幅広く食育についての知識と保護者支援、子どもを取り巻く食環境について学修していただきました。子どもの豊かな人間性を育て、生きる力を育み、発育を支え、健康な体と習慣をつくるには、多くの知識と具体的な対応策を身につけなければいけないことが分かったと思います。自身が子どものころから大切に守られ育まれたことを思い起こした学生さんも多くいました。次は、専門的知識を学んだ皆さんが、若いお母さん方へ指導する立場に成長してください。(江崎・西保・吉田)</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科理工学演習				
担 当 者	氏橋貴子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.6	4.5	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>歯科理工学演習では歯科医院や病院などで実際に使用されている歯科材料を練和したり、温度を感じたり、においを確かめたりして、その材料の特徴や性質を学びました。初めて聞く内容ばかりで、難しかったかもしれませんが、実際に手を動かしながら学んだことで、理解が深まったのではないかと思います。今後の学内演習では、これまでに学修した歯科材料の使用方法や使用する上での注意点、患者に対する配慮を学びます。そして、臨地実習ではこれらの歯科材料が実際にどのように使用されているのかを見学します。このように歯科理工学演習で学修した内容は次年度より開講する演習や実習の基礎になりますので、理解が不十分だったと思うところがあれば、今のうちに復習をしておきましょう。演習に関する質問や実技練習を希望する場合はいつでも連絡をして下さい。よろしくお願いいたします。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科診療の補助演習				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.5	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>本科目は学内実習室を利用しての初めての实習になりますので、医療人として身だしなみや感染予防に対する意識、また医療現場での態度なども含め、実践能力の基礎を修得することを目標に授業を展開しました。3名の教員で細かな点までを注意しながら授業を進めたことで、「教員が巡視し、細かく教えてくださったのでわかりやすかった」との意見をいただきました。</p> <p>授業評価は、「授業内容」4.5（学科平均 4.1）、「授業方法」4.6（4.1）、「学習成果」4.5（4.1）、「総合評価」4.6（4.1）と全ての項目に置いて学科平均を大きく上回る結果でした。</p> <p>この授業は、今後の診療補助関連の授業の基礎となります。2年次以降の授業も、学ぶ楽しさを実感しながら受講してもらえたらと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	医療安全				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.1	4.1	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>医療事故と院内感染防止の基本を知り、安心安全な医療を提供する重要性を理解してもらえるように授業の組み立てを工夫をしました。新聞記事や感染症対策についてのガイドラインを教材として、興味を持って学習に臨めるようにしました。本科目は、今後の学内実習や臨地実習に繋がる授業であり、歯科衛生士の三大業務の一つである「歯科診療の補助」を実践するうえでは欠かすことのできない知識になりますので、しっかりと知識の定着を図るようにしてください。</p> <p>授業評価のカテゴリー I～V はほぼ学科平均という結果でした。学内の会議等と重なることが多くなり、休講補講など予定変更があったため、学生の皆さんにはご迷惑をおかけしました。次年度は、予定を調整して、急な変更ができるだけないようにしたいと思います。</p> <p>次年度に向けて、さらに授業内容の整理をして、わかりやすく伝える工夫をしていきます。</p>					



## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	機能再建系歯科診療補助演習				
担 当 者	澤田美佐緒				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.1	4	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>各治療に対する歯科診療補助は、歯科衛生士として仕事をする際に一番最初に取り掛かる業務であり、歯周疾患や口腔機能などその先の学習の理解も深まるもとなる大事な科目です。しかし、歯科治療経験の少ない皆さんにとっては、初めてみる器械が多く、複雑に感じることも多々あったと思います。一つ一つの器具にその目的に合った形状があるので、そのことも考えて理解して行ってください。まずは、う蝕や歯周病に対する治療に興味を持つことが大切です。自分に治療経験がなくても、家族や友人など周りの方々の中には歯科治療を受けた人もいるでしょう。その経験を聞くのも理解を深める一つの方法だと思います。3年次の臨地実習に向けて、この授業で学んだ基本的な歯科診療の手技や患者さんへの対応方法など復習をして知識を確かなものにしておいてください。同じ診断であっても対象が異なると、治療方法は同じとは限りません。その差について学べるのが臨地実習です。頭を柔軟にし、何事にも興味を持って取り組むことで、分かることが増え面白さも出てくると思います。不明な点がある時は、やり過ぎさずに尋ねてすぐに解決する習慣を付けてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	医療安全				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.1	4.1	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>本科目は医療現場における医療事故と院内感染防止の基本を知り、安心安全な医療を提供する重要性を理解してもらえるような授業になるよう工夫をしました。新聞記事や感染症対策についてのガイドラインを教材として、興味を持って学習に臨めるようにしました。本科目は、今後の学内実習や臨地実習に繋がる授業であり、歯科衛生士の三大業務の一つである「歯科診療の補助」を実践するうえでは欠かすことのできない知識になりますので、しっかりと知識の定着を図るようにしてください。</p> <p>授業評価のカテゴリー I～V はほぼ学科平均という結果でした。学内の会議等と重なることが多くなり、休講補講など予定変更があったため、学生の皆さんにはご迷惑をおかけしました。次年度は、予定を調整して、急な変更ができるだけないようにしたいと思います。</p> <p>次年度に向けて、さらに授業内容の整理をして、わかりやすく伝える工夫をしていきます。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	子どもの心理学				
担 当 者	破魔幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.2	4	4	3.9	4	
学生へのメッセージ					
<p>回答をくださった方、ありがとうございました。</p> <p>感想を読ませていただいて、次年度の参考にさせてもらい、皆さんの後輩たちへ還元できるようにしたいと思います。</p> <p>興味を持ってもらえなく満足できなかった数人の方が居られたので、もっと子どもの様子や対応のエピソードもお話しできたら良かったかと思っています。</p> <p>保育士の国試対策を考えている方には問題解説が良かったようなので、次回はバランス良く内容をしていこうと思います。</p> <p>3年次の子ども関連の教科では、もっと国試を目指して学習できる内容を組んでいますので、ぜひトライしてみてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科予防処置演習 I				
担 当 者	破魔 幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.5	4.5	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>             あっているのに間違っているとの回答を教員が行っていたと指摘がありました。納得がいかないことはつらかったと思います。私もしっかりと事実を見ていきたいので、遠慮せず、怖がらずに伝えてください。数日経過してしまうと、事実が双方ともに証明できないこともあるので、できればその場で、あるいは実習後すぐに確かめてもらえるととてもありがたいです。食い違っていること、勘違いは、きっと話し合えば解決できると信じています。           </p> <p>             相互実習で技術の向上がはかれた、教員が多くわからないところを聞けたと記載してくださっています。演習はやはり、実践が一番必要なところですよ。恥ずかしがらずに何でもトライして、失敗したもの勝ちです！学内で失敗すれば、臨地実習でできる人になれます！           </p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	医療面接				
担 当 者	破魔 幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4	4	4	4	
学生へのメッセージ					
<p>小テストが良かったと言ってくださった意見がありました。自分の実力を認識するうえでも大事ですが、どのような問題が国試に出るのか、どこが大事なのかを知ることができるのもメリットだと思っています。そこが明確になると、学習意欲も関心も持てるはずです。</p> <p>医療面接のこの講義は、面接技法と記録の知識の学習です。3年次に、以下にこの知識が臨地実習で役立てることができるか、工夫してみてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	ワークキャリアプランニング				
担 当 者	破魔 幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	3.7	3.8	3.8	3.7	
学生へのメッセージ					
<p>この授業は、自分の中で「目標」「希望」を持つことから始まります。興味や関心が持てなかった方は、将来の自分を想像してみてください。ずっと先ではなく、来年・再来年でも良いです。今の自分のままで良いですか？大丈夫ですか？もしも、「今よりも良くなりたい」「何か違うかもしれない」とか感じたときに、このテキストを開いて役に立つワードがあるはずです。3年次の臨地実習、4年次の卒業、これからの大きなイベントの時に開いてみてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科予防処置論				
担 当 者	破魔 幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.2	4.2	4.1	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>課題についての感想が多かったです。皆さんの意見は、これからの授業に反映させていきたいと思えます。その日の授業と課題が一致するのが良いようなので、それは続行したいと考えています。国試の問題を書くのが大変だったという意見がありました。とても理解できます。ただ、4年生の本格的な国試対策の時にはそれは必要ないと思えますが、今は1年生、専門用語を正確に覚えてもらうために敢えて問題を書くことを課しています。しかし、皆さんの辛さは十分理解しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	歯周疾患処置演習 I				
担 当 者	破魔 幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.1	4	4	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>この科目でスケーラーに興味・関心を持ってくれたことが良かったです。これからも、その喜びを忘れずに、歯科衛生士の技術の向上を目標に頑張ってください。</p>					



## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科予防処置演習 I				
担 当 者	水村容子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.5	4.5	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>授業で分からないところを即時に解決できるや、相互実習で技術の向上が図れたというコメントがありましたので、今後も相互実習時には、すぐに問題解決に対応できるよう努めていきます。</p> <p>また、あっているのに間違っていると言われたというコメントがありました。こちらに関しては、説明に納得ができない状態で終わらないよう、授業終了後にも質問できる環境設定をしていくように努めます。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	歯周疾患処置演習 I				
担 当 者	水村容子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.1	4	4	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>スケーラーの手技がうまくなって良かったというコメントがありましたので、今後もマネキン実習および相互実習でスケーリングが上達するよう、努めます。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	子ども学				
担 当 者	水村容子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4	4	4	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>定期的に、授業プリントを配布することで見直しが見直しができたというコメントがありましたので、今後も授業プリントを配布し、復習できるような資料となるよう作成に努めます。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	情報メディア演習				
担 当 者	室崎友輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.2	4.2	4.2	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>ICT の知識や技術、そしてリテラシーが求められる社会です。AI の進化はめざましく、さらに ICT に関するスキルの必要性は高まってきます。授業で学んだ知識や技術にとどまることなく、新しい技術に関心や興味をもって、ICT や AI を活用できる専門医療人を目指してください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	社会福祉概論				
担 当 者	室崎友輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	3.8	3.9	3.7	3.8	
学生へのメッセージ					
<p>この科目では、社会福祉の理念、歴史、制度、サービス体系、などについて学び、人々の困りごとや生きづらさを理解し、支援する方法について考察してきました。</p> <p>社会福祉は、常に変化する社会の中で、人々のニーズに柔軟に対応していく必要があります。今後は、社会福祉の知識を常に持ち続けられる歯科衛生士を目指して下さい。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	ボランティア論				
担 当 者	室崎友輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	3.8	3.9	3.8	3.8	
学生へのメッセージ					
<p>ボランティア活動は、福祉、教育、環境、国際協力、災害支援など、多岐にわたります。それぞれの活動には異なる目的や課題があり、参加する人々のニーズも様々です。授業でボランティアについて考え、そしてボランティア活動に参加したことを活かして、今後の学生生活や社会人生活でもボランティアに興味を持って参加してもらえると嬉しいです。ボランティア活動は、社会を変える力を持っています。皆さんの力で、より良い社会を築いていきましょう。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	微生物学・免疫学				
担 当 者	山城圭介				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.4	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価拝見しました。西保先生が担当の範囲はおおむねわかりやすいと好評でした。山城担当分は授業が早かった、配布資料の穴埋めがわからない箇所があったとの意見がありました。授業はもう少しスピードダウン、配布資料は改善しようと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	医療英語 IIAB				
担 当 者	山城				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.1	4.2	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>予習動画があると良かったと意見をいただきました。引き続き授業がわかりやすくなるよう、事前の資料を準備します。効果的な学修のためには事前事後の勉強が大切です。予習動画、小テスト、復習などを行う習慣をつけ、学修を有意義なものにしてください。</p>					



## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	ライフステージ別口腔健康支援演習				
担 当 者	宮澤絢子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	
学生へのメッセージ					
<p>この科目では、各ライフステージの特徴を学び、症例に応じた歯科衛生ニーズの把握や介入計画の立案を行っていただきました。専門科目の学修途中で行ったため、難しさを感じたかもしれませんし、定型用紙を使用した同じ事の繰り返しだと感じた方もいるかもしれません。実際の臨床場面では、ライフステージだけではなく、個々の患者さんが抱える課題に対する歯科衛生介入を計画立案していきます。そのためには、この演習で身につけた歯科衛生過程の展開力が必要になってきます。難しい内容に感じたかもしれませんが、今後の臨地実習で必ず生きてきます。是非、3年生の臨地実習に行った後で、授業資料を見返してみてください。自分の成長を感じられると思います。今回の演習で、各ライフステージや歯科衛生過程を学ぶだけでなく、今後の臨地実習での学ぶ視点を養うきっかけになっていたら幸いです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	遺伝子と再生医療				
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.8	4.5	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>講義でもお伝えしましたが、再生医療分野では歯科領域の実用性が高いです。ご自身の勤務先で歯髄幹細胞を利用した再生医療を実施する日が来たら、少しでもこの授業を思い出して欲しいです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	歯科矯正学				
担 当 者	八木孝和				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	3.8	3.7	3.8	3.7	
学生へのメッセージ					
<p>初めは覚えることが多く、大変だと思いますが、しっかりと復習しましょう。実習に出て分かることもあります。復習していなければ、実習に出ても何も分からなく終わってしまいます。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	子どもの歯科学				
担 当 者	八木孝和				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	3.7	3.7	3.7	3.6	
学生へのメッセージ					
<p>家の学修する時間が短い学生も多くいるようですが、将来、医療者になることを忘れてはなりません。大変だと思いますが、しっかりと復習しましょう。今勉強しないで、いつ勉強しますか？</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	ワークキャリアプランニング				
担 当 者	八木孝和				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	3.7	3.8	3.8	3.7	
学生へのメッセージ					
<p>将来の自分を具体的に想像する段階に皆さんはいます。しっかりとした将来像に対するビジョンを早く描ける人ほど満足のいく職場に進むことになることが多いです。今回の講義をきっかけに早く自分像を作りましょう。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	全身の健康と口腔科学				
担 当 者	八木孝和				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.2	4.2	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>授業は充実感が高かった学生が多かったようですね。さらに理解を含めるためにも事前の準備をするように心がけましょう。新しい物事を吸収するためには、事前準備をしているととてもタイムパフォーマンスが上がりますよ！</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	口腔保健特論 I				
担 当 者	八木孝和				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.6	4.6	4.6	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>国家試験に向けて一つのヒントになってくれているのであれば幸いです。卒業後の新しい人生にむけて大学で学んだ多くのことを活かしてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	口腔保健特論Ⅱ				
担 当 者	福田昌代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>国家試験対策の科目で、緊張した授業が続きました。国家試験が近づくにつれ、皆さんの表情も変わり、とても内容の濃い授業になったと思います。最後に集中的に詰め込むような形になり、もう少し早くから勉強に集中することができたら、もっと楽しく学修することができたのではないかと思っています。しかし、追い込みであっても学修したことは今後、歯科衛生士として仕事をしていく上で、大いに役立つ内容ばかりですので、忘れてしまわずに今後に生かしてください。1204教室に82名の学生が学習することになり、資料が多くなると机が狭く学習しにくかった面はあるかと思っています。教室配置については今後検討していただきます。</p>					



## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	口腔健康支援各論				
担 当 者	福田昌代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.5	4.5	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>この科目は、前期の口腔健康支援総論を受けて、歯科衛生士の業務である歯科保健指導の基礎を学ぶ科目です。今の学修に加え、今後の学修の基礎になる科目であるため、冊子を使用して学習を進めることで、予習や復習ができる体制を念頭に授業を計画しています。皆さんの感想からもそのことが良い形で捉えていただけたようです。しかし、学生自身の授業外時間がかかなり少ない人が多かったので、もっと冊子や教科書を使用して予習復習する時間を持ってくれたらよかったです。3304 教室は後期の途中にプロジェクターも変更になり、スライドも見やすくなって良かったです。来年度以降、本格的な応用科目に進んでいきますので、この内容をしっかり整理して次につなげてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	口腔健康支援総論				
担 当 者	福田昌代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.7	4.7	4.5	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>口腔健康支援総論は歯科衛生士業務である歯科保健指導の概要的な位置づけの科目でしたが、皆さんはきちんと理解できましたでしょうか。まずは基本となる知識ですので、授業ノートをきちんと見直しておきましょう。途中、TEAMS を使ったグループワークでは意見交換もすることができました。今後も他の人の意見を聞き、参考にすることはとても大切です。皆で良い形で学修を進めていきましょう。</p> <p>後期の口腔健康支援各論でも授業が継続しますので、体調管理を怠らず引き続き学修していきましょう。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	歯科保健指導演習Ⅳ				
担 当 者	福田昌代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.4	4.6	4.5	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>進度が遅く、心配しましたが、最後の試験時の皆さんのプレゼンテーションはとてもよくできたグループが多かったです。その時点では対象者に語り掛けるところまでは到達していないグループもありましたが、10月の実習ではしっかり対象者にわかるように説明できていたと思います。今後も集団での歯科保健指導をする機会があれば、ぜひこの授業での体験を思い出してください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	子ども学				
担 当 者	中村 美紀				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4	4	4	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>本科目は、保育という営みの全般について理解することを目的に、保育にかかる主たる専門分野を取り上げ、各分野における基本的な知識を学修する科目です。そのため、授業に出てくる用語（口腔保健の専門とは違った専門用語）は難しく、非常に理解が難しかったと思います。そのような中、授業評価アンケート「IV学修成果」のうち「授業内容をよく理解できた」に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えてくれた学生は半数以上でした。これは皆さんが本科目に意欲的かつ積極的に参加してくれた証であり、嬉しく思います。</p> <p>授業方法に関しては、「定期的に授業のプリントが配られていたので、何回も見直すことができ良かったです。」という意見をいただきました。次年度はさらに見やすく、かつ分かりやすい資料作りを心がけたいと思います。</p> <p>本科目が幼児期の保育支援につながるよう、授業で理解が難しかったところは必ず復習するようにしておいてください。そして、不明な点があれば、いつでも質問をしに来てください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	医療情報システム学				
担 当 者	玉川裕夫				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.0	4.1	3.8	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>国家試験に合格し免許を取得した後も、電子的な情報交換に積極的に取り組んでください。そして、システムの背後でどのような情報がやりとりされているか、推測できる利用者になって欲しいと思います。今年度は授業を進めやすかったです。</p>					